自己評価報告書

平成22年 3月31日現在

研究種目:若手研究(B)研究期間:2007~2010 課題番号:19720116

研究課題名(和文) 英字新聞アーカイブを用いた通時的語彙研究の可能性:

方法論確立から研究実施まで

研究課題名 (英文) Analyses of Lexical Usages and Meanings based on Newspaper Archives

研究代表者

加野 まきみ (KANO MAKIMI) 京都産業大学・文化学部・講師

研究者番号:90352492

研究分野:人文学

科研費の分科・細目:言語学・英語学

キーワード: 語法・意味変化, コロケーション, 文法パタン, Sketch Engine, British National Corpus, Wordbanks Online, 電子化コーパス, 英字新聞アーカイブ

1. 研究計画の概要

本研究の目的は大きく分けて3つある.

- (1) 近年電子化が急速に進んだ英字新聞アーカイブを使用した語彙研究の方法論を確立を確立すること,
- (2) その方法論に則った語彙研究の可能性を 開拓し、それに役立つ分析ツールを開発 すること、
- (3) これらのツールを利用した語彙研究(主にメタファーや類義語を対象にしたもの)の実施である.

2. 研究の進捗状況

現在,以下のような作業を終え,研究体制を整え,研究を実行している.

- (1) 利用可能な新聞アーカイブの選定, それ ぞれのデータ形式, 検索方法, 結果表示 などの違いを検討し, どのような形でデ ータを整理・保存していくか決定した.
- (2) コーパスによるデータの補強などを終え、 複数の語彙について、各種新聞アーカイ ブでパイロットスタディーとしての検 索・データの検討を行い、対象語彙とデ ータ収集の仕方・分析方法を決定した.
- (3) 新聞アーカイブによる語彙研究の様々な可能性を示すために、様々な語彙を取り上げ、多角的に分析を行った。特に、メタファーと類義語を取り上げ、その語法・意味の変化や、コロケーション、文法パタン等を明らかにした。
- (4) メタファー研究や語の意味を扱う分析では、用法の検出がコンピュータによる自動化されたプロセスでは不可能なため、

- 設定した語彙を検索した後、研究者自身でメタファー用法であるかなどの判断をする必要があり、時間を要するが、Sketch Engine の使用により、使用されるパタンの表示が容易に行えるようになり、意味の見極めが効率的に行えるようになった.
- (5) 類語研究のケーススタディとしては、 terrorとterrorismを取り上げ、新聞アーカイブを遡って検索し、年代ごとに分析することによって、2001年「対テロ戦争」開始以前と以降で使用頻度、使用される意味が大きく異なること、war onterrorとwar onterrorとmの使用ピークの違い、英米紙で使用の傾向が異なること、近年急速にterrorismに類似してきていることなどを、年代を追って解明した。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている.

研究計画当初使用を予定していた新聞アーカイブが使用できなくなくなり、使用アーカイブの再検討が必要だったことや、すでにデータを収集し始めていたコーパスのデータがサーバ側で入れ替えられたため、データ収集作業のやり直しを余儀なくされたこと、上述の手作業によるメタファーの判断に予想以上に時間を要したことなどが、研究の進捗が遅れている理由である.

4. 今後の研究の推進方策

引き続き,現体制で本格的な調査・研究を実施する.研究テーマとしては以下のようなも

- のが挙げられる.
- (1) ある語が初めて紙面に登場してから現在に至るまでの語法・意味の変遷や地域差を探る.
- (2) The Times の記事を利用して,新語の誕 生から使用範囲の広がりを調査する.
- (3) The Times と New York Times を使い, 英米ジャーナリズム英語を比較する.
- (4) 現在同義語として共存している語彙が, これまでどのように使い分けられていた のか,歴史的に遡って調査する.
- (5) 新聞アーカイブの調査結果とジャーナリズム以外の言語使用域(例えば小説・話し言葉)を含むコーパスによる調査の結果を比較し、語彙使用の違いを探る.

新しく解明された言語的特徴や用法などを, 国内外の学会発表や論文などで積極的に発 表していく.

5. 代表的な研究成果 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

- ①加野まきみ, "Global War on Terror"以降の terror の語法・意味の変化:新聞アーカイブ・コーパスにおける使用実態調査,『言語研究』,第 138 号,頁未定,2010,査読有(2010年9月掲載決定)
- ②加野まきみ,日本語からの借用語再考(2):The Times Digital Archive を用いた低頻度語の調査,文化女子大学室蘭短期大学研究紀要,第31号,2008,34-50,査読無
- ③<u>加野まきみ</u>, TIME における日本語再考: 創刊(1923 年)から現在まで,文化女子 大学室蘭短期大学研究紀要,第30号,2007, 5-24,査読無

〔学会発表〕(計1件)

①加野まきみ, terror vs. terrorism: コーパス・新聞アーカイブにおける使用実態の変遷, 第 11 回 JACET 英語辞書研究会主催ワークショップ, 2010 年 3 月 27 日, 東洋大学

[図書] (計1件)

①渡辺秀樹,大森文子,<u>加野まきみ</u>,小塚良孝,大修館書店,『メタファーとコーパス言語学(仮題)』,2010,頁未定(2010年8月出版決定)